

福山東地区防犯組合連合会は昭和38年に発足、現在、備後の中核市福山の市街地を形成する32小学校区で構成されており、本年で60周年を迎えます。

本連合会の特徴的活動として、毎年5月に開催される「ばら祭り」において防犯組合役員がそろいのユニフォームで横断

地区防連会長エッセー

幕を持ちパレードを先導し、防犯のまちをアピールしています。年末の「警戒パトロール」においても同様の取り組みをしています。年間を通じて

の取り組みは「ばら」のまち福山に因んだ「ローズポリスパトロール」です。これは福山駅周辺の自転車盗対策として全学区・安全推進員・福山東署署員合同でローテーションを組み、毎月第1、3、5週の金曜日にワンロック・無施錠の自転車にツーロック推奨の札を貼付し、所有者の注意喚起を図るものです。13年来継続しており、盗難防止に効果をあげています。

市の中心部東小学校では安全活動少年団「だい

すキッズ」が校長・保護者・防犯役員の協力を受けながら活躍しています。新一年生への「いかのおすし」レクチャー・下校児童への声かけ・清掃活動・公安関係機関の見学（昨年は海上保安庁）・年末のパトロール出発式では決議文の読み上げ・音楽隊と共に行進の先導と頼もしい限りです。連

合会も、この小学生の頑張りを全面的に支援しているところです。

今後は、近年多発している特殊詐欺撲滅のため、定期的に行政・県警の担当者を講師に行って

会長 高田 健司

いる研修を更に強化し、第5期アクションプランの運動目標「日本一の安全安心を実感できる広島県」の実現に向けて地域ぐるみで取り組んでいきます。

末筆ながら、昨年は福山藩初代藩主水野勝成が福山城を築城して400年にあたり、多くのイベントで盛り上がりを見せました。福山城本体もリニューアルされて、魅力たっぷりの展示をご覧になれます。是非一度足をお運びください。



安全安心な まちづくりにむけて

福山東地区防犯組合連合会

がんばっています 防犯ボランティア 団体紹介 69

災害を乗り越えて

「おはよう！」
「お帰り！」
「今日は楽しかった？」
今日も、児童の登下校時には、元気な挨拶が飛び交います。



近年、新型コロナウイルスの影響により、様々な行事が中止されるなかでも、東野小学校の校門前や通学路では、登下校中の子供たちの元気な姿と、いつもと変わらない地域ボランティアの姿があります。

平成30年7月、豪雨災害により被災した竹原市東野町では、多くの民家が水害に遭い私たちの活動拠点になっている地域交流センターも、1階部分が水没する被害に見舞われました。

この間、私たちは活動休止に追い込まれましたが、関係者一丸となった懸命な復旧活動により、現在は、以前と変わらない活動が展

開されています。

私たち東野町協働の町づくりネットワークは、平成22年に結成されました。

現在は、代表の井上俊則を中心として、地域住民約40名で活動しています。

児童の安全はもちろん、定期的に高齢者サロンを開催して、防犯情報を交換するなど、地域の安全安心を支えています。

昨年度は、長年の地道な活動と、災害にもめげずに活動を復活させた功労が認められ、防犯功労団体表彰を受賞しました。

東野町は、竹原市内でも特に高齢化が著しく、私たちも後継者問題等で活動の継続が危ぶまれておりますが、今回の受賞を励みにして、更に地域一丸となった活動を推し進めて行きたいと考えています。



代表 井上 俊則
東野町協働の
町づくりネット
ワーク（竹原市）